

事業所名

放課後等デイサービス マハロ

支援プログラム

作成日

2024年 12月10日

法人（事業所）理念		私たちは利用者満足度向上を目指した支援の提供を実施します。							
支援方針		1.一人ひとりのお子さまの個性が輝き、体や心の成長を支える「発達視点」を大切にサービスを提供します。 2.学校や医療機関との連携を深め、支え合い、共有し、お子さまの個性に応じたプログラムを作成します。 3.専門スタッフがお子さまの特性に寄り添い、より専門的な支援を提供します。 4.できる限り、ご本人やご家族の思いに寄り添い、柔軟に対応します							
営業時間		平日	14時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜日	9時	30分	15時	30分			
		長期休暇	9時	30分	17時	0分			
支援内容									
本人支援	健康・生活	<p>《健康状態の維持・改善》…お子様の心身の把握に努めます。健康状態に併せた適切な対応を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイタルチェック</li> <li>・健康状態の把握(気持ちの面も含む)</li> <li>・変化に対しての適切な対応</li> </ul> <p>《生活習慣や生活リズムの形成》…環境の調整を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調の管理(室温,換気)</li> <li>・シアター、エアドッグの設置</li> <li>・衣服の調整</li> <li>・構造化を意識したレイアウト(絵カードを使って視覚的にわかりやすい環境を整える)</li> </ul> <p>《基本的な生活スキルの獲得》…生活の基本的な技能が獲得できるよう日常での動作を本人と一緒に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事支援：子どもに応じた食事介助の支援</li> <li>・トイレ支援：子どもに応じたトイレ介助の支援</li> <li>・身だしなみの支援：衣類の着脱方法を教え、一緒に実践する。清潔を意識づけることができるような声掛けの実施</li> <li>・構造化の支援：「何がどこにあるか」「どこで何をするか」がわかるように視覚的にアプローチする。</li> </ul> <p>《生活におけるマネジメントスキルの育成》…子ども自身が自己理解を深め、状況に応じての行動、感情の調整ができるような支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り(プチ会議)の実施</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニングの実施</li> </ul>							
	運動・感覚	<p>《姿勢と運動・動作の基本的技能の向上について》…姿勢の保持や運動動作を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タオル、クッションなどを用いた姿勢保持への補助</li> <li>・歩行器の使用</li> <li>・拘縮や変形予防のためのストレッチ</li> <li>・関係機関(PT・OT)との連携</li> </ul> <p>《移動能力の向上》…日常生活に必要な移動能力や社会的な場面における移動能力の向上のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行訓練の実施</li> <li>・外出先での自走の促し</li> <li>・安心して車いす自走ができる環境を整える</li> <li>・公共機関(電車・バス・商業施設)への外出</li> </ul> <p>《保有する感覚の活用》…利用児個々が持っている力を最大限活用できる様に支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7つの感覚を使った支援の実施</li> <li>【視覚】絵本(朗読会)、スヌーズレン</li> <li>【聴覚】伝言ゲームやイントロクイズ、音楽活動</li> <li>【前庭覚・固有覚】ブランコや滑り台</li> <li>嗅覚・味覚：調理活動</li> <li>【触覚】水遊び、粘土遊び</li> <li>【複数の感覚】ボール遊びや創作活動(見る、掴む、支える等)、音楽に合わせて体を動かす(ダンス・ストレッチ等)</li> </ul> <p>《感覚特性への対応》…感覚の特性に配慮し環境の調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーテーションの設置</li> <li>・特性に応じた部屋の割り振り</li> <li>・ヘッドホンやイヤーマフの着用の促し</li> </ul>							
	認知・行動	<p>《外部環境の適切な認知と適切な行動習得》…空間や時間、物の概念形成を促し、適切な行動、距離感が習得できるような支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイマーを使用した時間の把握</li> <li>・絵カード支援による時間帯別行動の時間認知形成</li> <li>・季節の変化に応じた戸外活動等</li> <li>・物質の変化と感覚の認知形成(スライムや粘土等)</li> </ul> <p>《行動障害への予防及び対応》…コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び、適切な支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードやタイマーなどの構造化支援</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニングや応用行動分析を活用した支援方針の組み立て</li> </ul>							

本人支援	言語 コミュニケーション	<p>《コミュニケーションの基礎的能力の向上》 …障害の種別や程度、関心に応じて言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機能等を用いて意思のやり取りが行えるような支援を実施します。 ・指さし、ハンドサイン、ハイタッチによる挨拶の促し ・日直や子ども会議などの意思が発信できる場を提供する</p> <p>《言語の受容と表出・言語の形成と活用》…相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど言葉を受容し表出することが出来るよう支援する。 ・自己紹介ゲームなどの自己表出の機会を設ける ・朝の会、帰りの会、子ども会議で自分の考えを発信する機会を設ける。また議長として考えをまとめる役割を担ってもらう。 ・カードを使った音声言語と文字言語のマッチング支援。</p> <p>《人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得》…コミュニケーションによる相互作用を学ぶことができるよう支援を行います。 ・伝言ゲームなどを通して会話のキャッチボールの練習を行う。 ・自己紹介(SST活用)など自分を知ってもらう機会を設ける。</p> <p>《状況に応じたコミュニケーション》…場や相手に応じた適切な対応が学べる機会を設ける。 ・こんな時どうするゲーム、ソーシャルスキルすごろくを使ったロールプレイングの実施 ・日々の支援を通して、正しい声の大きさや言葉遣いを学ぶ</p> <p>《読み書き能力の向上》…障害の特性に応じた読み書きの習得ができるように支援をする。 ・子ども会議での書記の役割 ・宿題の支援(環境の調整) ・朗読会を通しての読字練習 ・文字を書く機会の導入</p>	
	人間関係 社会性	<p>《アタッチメントの形成と安定・情緒の安定》…安心した環境下で過ごすことができるよう環境の設定を行う。 ・虐待防止や拘束防止に関する基本的知識の学習 ・定期的な個別面談の実施(自尊心を高めて自分を認めてあげられるような関り)</p> <p>《他者との関わり(人間関係)の形成》…集団生活を通して他者に関心を持ち模倣して社会性や対人関係を深められる環境を提供する。 ・活動や宿題の時間を使いながら年代問わずに関りが持てるような環境をつくる。 ・先輩を見本とした関りを持てるよう環境を調整する。</p> <p>《遊びを通じた社会性の促進・仲間づくりと集団への参加》…集団行動・活動を通し友達や支援員との繋がりを感じ取れるよう支援する。 ・ボードゲーム等のルール理解が必要となる遊びの実施 ・ごっこあそびなどの見立て遊びの実施 ・園芸活動や大型制作物などの共同遊びの実施。 ・地域のお祭りや公共機関への外出を通じた地域へ繋がりを持つ活動の実施</p> <p>《自己の理解と行動の調整》…本人と一緒に得意な事、苦手な事を探っていく。得意な部分は伸ばせるような支援へと、苦手なことは少しずつ取り組めるような支援へと繋げていく。 ・良いところ探しゲーム ・気持ちチップの活用 ・アンガーマネジメントゲーム ・個別懇談の実施 ・頑張りポイントの実施</p>	
家族支援	<p>1.日頃のやり取りを通し、相談しやすい環境を整える。 2.発達上で気づいたことを共有し、支援の方法や介助方法についての助言・提案を行う。 3.家庭での取り組みや生活の環境を共有し、マハロで取り組む支援を確認・実施する。 4.家族の休息の時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するために送迎時間や支援の時間を検討し、実施する。</p>		
移行支援	<p>1.「途切れのない支援」を実現するために、ライフステージに変化がある時には支援の情報を関係機関と共有する。 2.将来を見据えた目標を個別に設定し、継続的に取り組んでいく。(コミュニケーションスキルの学びや日常生活動作の獲得、社会でのルールの理解等)</p>		
地域支援・地域連携	・通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援の実施	職員の質の向上	<p>1. 利用児の特性に合わせた学習会やケース検討会の実施 2. 施設外の研修への積極的参加 3. 職員個々に向けた面談の実施</p>
主な行事等	<p>3～4月：《春休み》お花見、外出活動      7～8月：《夏休み》水遊び、外出活動      9～11月：地域の秋祭り、ハロウィン      12月：クリスマス会      1月：新年会</p>		